

ちゅうの水道



ちりゅうすいどうじぎょう
知立市水道事業



ちりゅうの水道

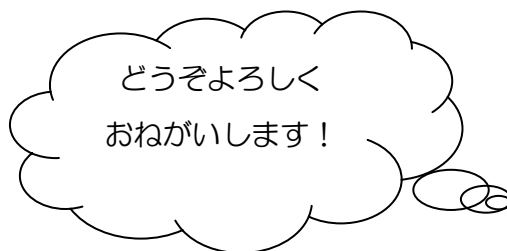
こんにちは、ぼくの名前は、みずっちです。みんななかよくしてね！

ところでみんな、スーパーなどの店頭には、ペットボトルにつめられた、たくさんのミネラルウォーターが売られているよね。たくさんの種類があってこまってしまう。でも、みんなの家や学校で飲む水道水って本当にまずいのかな？

毎日飲む水だよ
安全でおいしくにきまっているよ

だって水道水は、浄水場で働いているおじさんが水質検査をしてみんなのところに安全な水を送っているしね！
せっかくだからもっと、水についてしらべてみない？
知立市の水ってどこから来るかな？
どこだとおもう？

それでは、知立市の水ってどんな水かみていきましょう！



ぼくの名前は、「みずっち」



飲み水はどこから



知立市の水道水は、地下水を処理した知立浄水場と、
川の水を処理した豊田浄水場と尾張東部浄水場の水道水（県営水道）の
一部が知立市にある八橋配水場と西町配水場に送られて各家庭に
配水しています。知立市の水道は、県営水道の水が全体の78%にあ
たり、のこり22%を知立浄水場の水でまかっています。





きれいな水をつくる工場「浄水場」

◆水道の水が届くまで

水道水のもとになる水のことを原水^{げんすい}といいます。

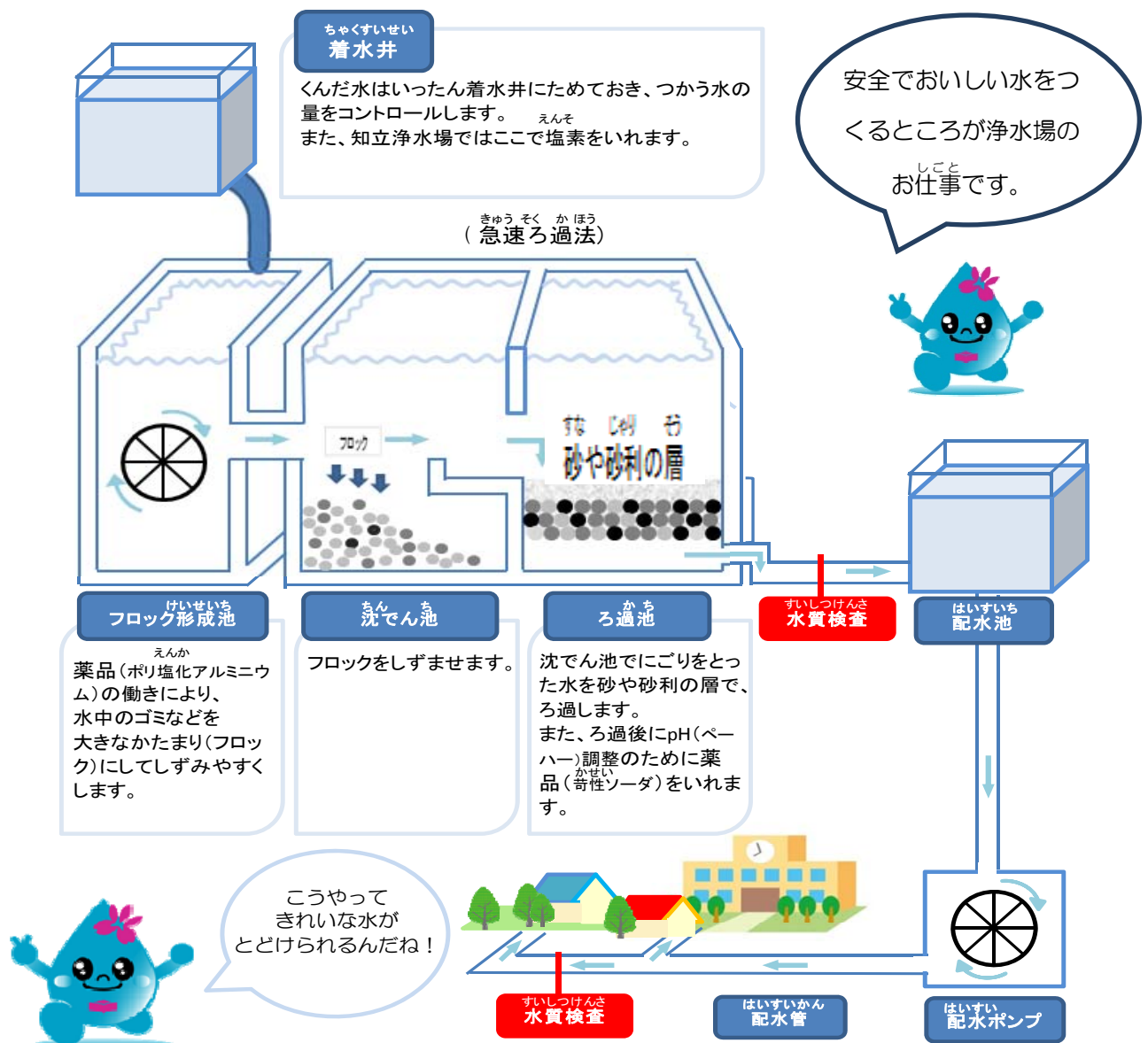
原水^{げんすい}は、川の水、*湖沼水^{こしやうすい}、地下水^{ちかすい}の大きく3つに分けられます。

原水^{げんすい}は、きれいにみえても細かい砂^{すな}や細菌^{さいきん}などがまざっています。また、川の中で、くらしに使った洗剤^{せんざい}や油^{あぶら}やゴミなどがまざって汚れてしまうこともあります。それらの原水^{げんすい}を安心して飲む水^{あんしん}の水^のに変えるところが浄水場です。

知立市の原水^{げんすい}は地下水^{ちかすい}（深井戸^{ふかいど}）からとり入れられ、導水管^{どうすいかん}を通して浄水場の入口の着水井^{ちゃくすいせい}に着きます。浄水場では、まず水の中の小さなゴミや砂を、薬^{くすり}のはたらきでしずみやすいかたまりにします。そのかたまりになったゴミや砂を沈でん池^{ちんち}でとりのぞきます。そして、ろ過池^{ろかち}では、しきつめられた砂や砂利^{すな}の層^{じやり}に水をとおして、もっと小さなゴミや細菌^{さいきん}をとりのぞきます。

* 湖沼水：みずうみ・ぬま・いけのこと

◆知立浄水場のしくみ





安全な水づくり

いつも安全な水をとどけるために、知立市の水道では、どこでどのようなとり組をしているの？



◆浄水場での検査

知立浄水場では、川や地下水から入ってきた水道水のもとになる水やきれいにしているとちゅうの水、そして最後にきれいにできあがった水の検査をしています。

また、浄水場で検査できない水質検査は、専門の業者によって、飲み水としてのきまりをみたしているか、くわしい検査がされています。



◆公園での検査

じゃぐちは、水道を利用する人に一番近いところです。

そのため、きめ細かくきびしいチェックが必要です。

毎日、浄水場と配水場から遠い公園の水を浄水場で働いている職員が水質検査をしています。



安全な水をとどけるために、
原水からじゃぐちまでの水を
多くの場所で水質検査をして
いるよ！





いつも安定して水を

◆何がいちばん大切？

「人間が生きていくために、何がいちばん大切ですか？」

「お金！」それも大事だけど、まず空気、そして水や日光。それから食べ物や着る物、ガスや電気のようなエネルギー、どれも生きていくために必要なものだね。

その中でも特に水は大切！

野菜や果物の農産物や、車やゲーム機などの工業製品も水がなくてはつくれないし、飲み水ばかりでなく、お風呂や炊事、せんとく、そうじやトイレなどでも水をつかいます。

ほかにも学校や病院などにも水道の水はつかわれているし、消防活動などにも、たくさんの水がつかわれます。

水道水は、みなさんの暮らしにとってなくてはならないとても大切なものだと、おぼえておいてね！

◆災害にそなえる水道

みなさんの住んでいる日本は、地震や台風などの災害がとても多い国です。

災害がおきて、みなさんの所に水を運んでいる配水管などの水道施設がこわれてしまうと、水がつかえなくなってしまう。

水道の水がつかえなくなってしまうとこまります。そのため、水がとどけられなくなったらすぐに水をくばりに行けるように給水車を用意しています。また、浄水場や配水場にもたくさんの水をためる準備をしています。



給水活動



平成 23 年 3 月 11 日におきた東日本大震災では、生活に必要な水やガス、電気がつかえなくなりました。

知立市水道課では、給水車を持っていて、いざというときのために、ふだんから訓練をし、24 時間準備をととのえています。東日本大震災がおきたときもかけつけ給水活動を行いました。

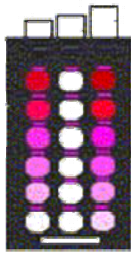
▲宮城県石巻市での給水活動

水道水のそこが知りたい？Q&A

Q1. なぜ水道水に消毒するの？

A1. みんなは、学校のプールでおよいだことがあるよね。

プールの時に感じるニオイっておぼえているかな？あれは、次亜塩素酸ナトリウムという薬品を使って病気が伝染しないように守っています。つまり消毒（塩素消毒）をしているからこそ、安心してじゃぐちから水を飲むことができます。日本の水道法では、じゃぐちから出る水道水の中に消毒が少しのこっていることが義務づけられています。



えんそそくていき
塩素測定器

えんそそくていき しやく えんそのうど
塩素測定器に、試薬をいれると塩素濃度
におうじて水が赤 紫 色 になります。



Q2. 水がたりなかったり、出なかったりしないためのくふう？

A2. 浄水場できれいした水は、配水池に水をたくわえられます。たくさん水をつかう朝や夕方に多く出せるように水の使用量が少ない夜にたくわえて、ポンプで送る水の量を24時間調整しています。



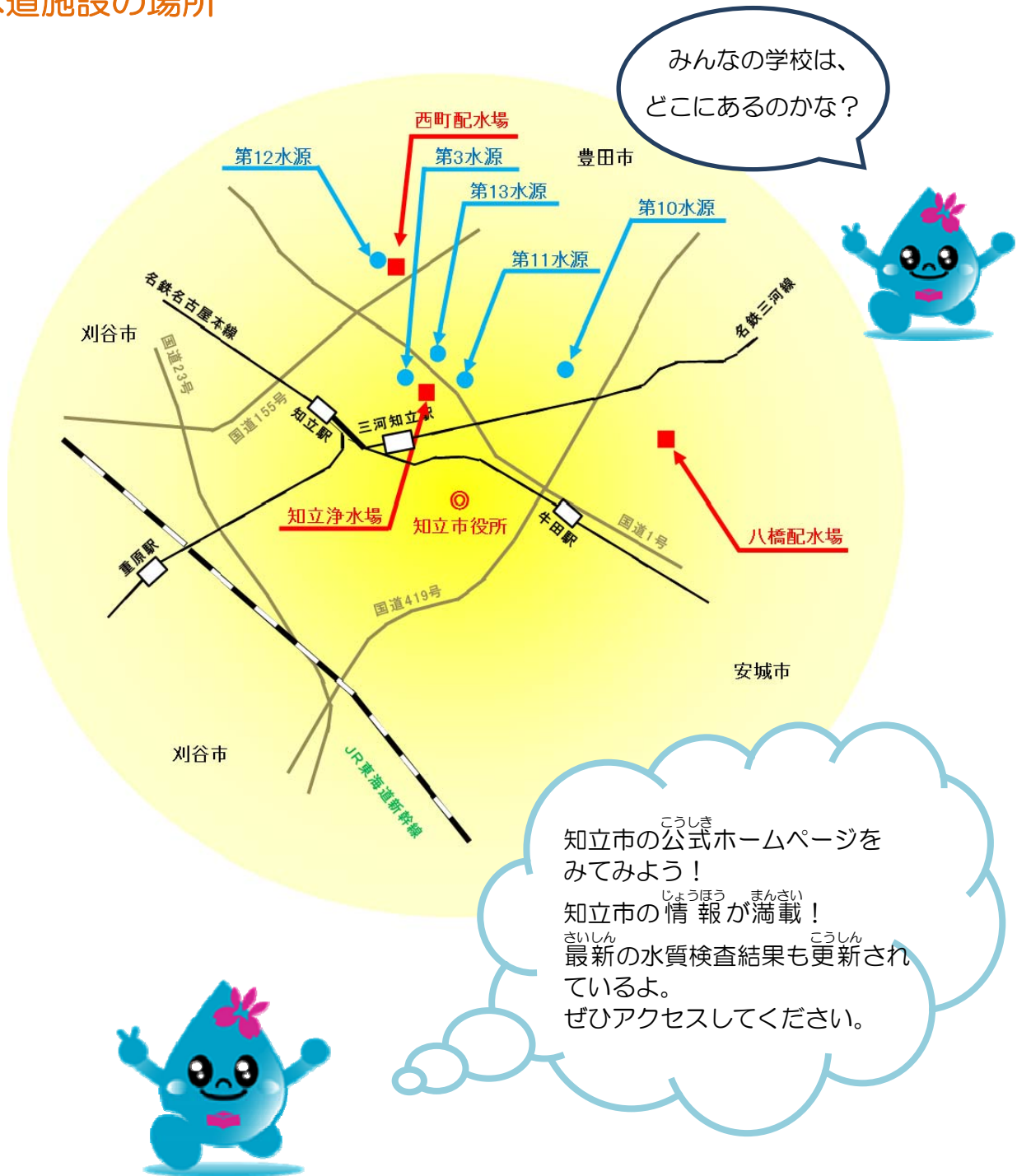
Q3. このパンフレットに登場してきたキャラクター「みずっち」は何人でできたのでしょうか？

A3. 答えは、お友達みんなで見つけてみてね！



ぼくをみつけてね！

水道施設の場所



◆問い合わせ先

知立市役所 上下水道部水道課
〒472-8666
知立市広見3丁目1番地
TEL 0566-83-1111
ホームページ

<http://www.city.chiryu.aichi.jp>

知立浄水場（浄水管理事務所）
〒472-0032
知立市中山町神狭間2-1
TEL 0566-81-1381